



「数学をいかに教えるか」を考える数学教育学が研究テーマです。

2022年度から高校で導入された「探究型授業」は生徒自身が主体的に課題を見つけ、解決策を導くというもの。数学であれば新しい定理を発見し、その証明に挑戦します。

また、身の回りにあるささいな疑問から社会問題までを、数学を道具として用い、解決の糸口を探ります。

とはいえこうした学びは高校生にとってハードルが高く、サポートする教員側も試行錯誤しながら指導するしかありません。

そこで研究室では次世代の教員養成を目指し、学生が「探究型授業」に挑戦。あわせて専用の教材開発にも取り組みます。

テーマ決めから手法のヒントまで、生徒を導くために必要なことは何か。教師と生徒、両方の視点を持てる大学生の立場だからこそ、「探究型授業」に新しいアプローチを取り入れることもできると思います。

この研究室での実践的な学びを通して、一緒に未来の授業の在り方を考えていきましょう。